

2026年6月8日

## 下水道サーベイランスの社会実装に向け、国土交通省近畿地方整備局長と意見交換を実施しました。

令和8年6月8日（月）、全国下水道サーベイランス推進協議会と日本下水道サーベイランス協会は、齋藤博之国土交通省近畿地方整備局長と面談し、下水道サーベイランスの社会実装に向けた意見交換を行いました。

下水道サーベイランスは感染症対策の有効な手段として認識されているものの、その導入は各自治体の判断に委ねられています。両団体は、今後の自治体への迅速な普及には、各地の地方整備局との連携が鍵となると考え、今回の面談に至りました。

面談では、下水道サーベイランスの有効性を説明した上で、札幌市における先行成功事例を紹介しました。その後、各県最低1箇所・全国50箇所からなる「下水道サーベイランス観測網」の構築を提案しました。また、関連省庁の役割分担を明確にした上で、日本成長戦略会議への位置付け、骨太の方針への明記、令和9年度概算要求への反映が重要であるとの両団体の考えのもと、意見交換を行いました。

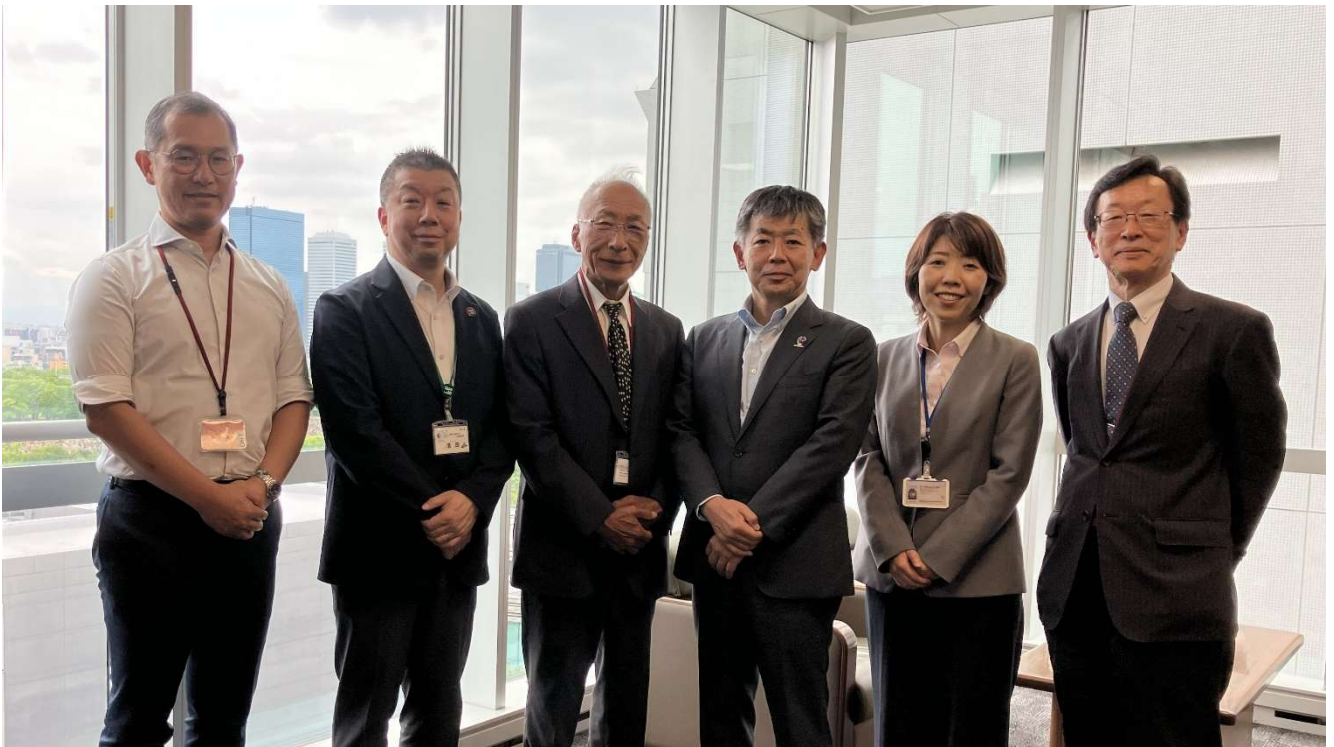
これに対し、齋藤博之近畿地方整備局長からは、下水道サーベイランスの重要性に理解を示された上で、「引き続き皆様と意見交換を重ね、近畿地方整備局としても、下水道サーベイランスの社会実装に向けた具体的な対応を検討していきたい。」との前向きな回答をいただきました。

### [提案先]：

- 齋藤博之 国土交通省 近畿地方整備局長
- 松宮知 国土交通省 近畿地方整備局 河川部 上下水道調整官

### [訪問者]：

- 広瀬栄 前兵庫県養父市長、全国下水道サーベイランス推進協議会 特別顧問
- 濱田敏裕 札幌市下水道河川局事業推進部 処理担当部長  
全国下水道サーベイランス推進協議会 副会長代理
- 小林博幸 一般社団法人日本下水道サーベイランス協会 副会長
- 谷戸善彦 全国下水道サーベイランス推進協議会 理事、  
一般社団法人日本下水道サーベイランス協会 副会長



(写真：右から谷戸氏、松宮上下水道調整官、齋藤近畿地方整備局長、広瀬氏、濱田氏、小林氏)